



号外

平成26年7月発行

発行人 染野 貴寛
発行所・事務局
一般社団法人 千葉県社会福祉士会
〒260-0026
千葉県千葉市中央区千葉港7-1
塙本千葉第五ビル3階
TEL 043-238-2866 FAX 043-238-2867
E-mail office@cswchiba.com
点と線はメール配信でも読めます！



五感で感じる!! 社会福祉士

『近い将来に、どの人も困った状態に陥らない社会となる日が訪れるのならば、個別支援のみで解決できるのですが、人が生きている限りは、どのような人にも、目を閉じて天を仰ぐような状態になる可能性があります。私たち専門職と専門職団体は後進を育て、得た知識と技術を伝承して、発展させていく使命も与えられていると考えています。この使命を果たすのも職能団体の役割です。仲間がつながり、課題を持ち、社会へ言葉を発信して、さらに知識・技術を伝承しながら新たな仲間も応援していく団体であり続けることが、千葉県社会福祉士会の役割であると同時に、そこに集まる会員の皆さまのメリットになると考えております。』

(点と線85号:会長挨拶より一部抜粋)

千葉県社会福祉士会の仲間がそれぞれの思いをもって部会の活動を行い、仲間とつながり、自らを高めあっています。その思いを五感で感じてみてください。社会福祉士の専門性を高める場のひとつがここにあります。

部会活動への参加の申し込み・問い合わせは当会事務局(上記電話番号またはメール)までお願いします。

千葉県社会福祉士会 委員会・部会紹介

総務委員会

企画部会

総務委員会の企画部会では部会員を募集しています。「社会福祉士って何の仕事?」「介護の資格でしょ?」「ソーシャルワーカーって何?」「国家資格なの?」皆さんは、こうした質問をされたことはないでしょうか?

「社会福祉士の仕事をもっと世間に知つてもらいたい。」「社会福祉士の地位をもつと向上させたい。」一度でもこう思つた方は是非、企画部会にいらっしゃい。企画部会は主に地域集会の開催支援や、千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会の活動などを通して、社会福祉士会の組織強化を目指しています。(部会の開催場所は千葉市内)

社会福祉士の認知度を上げ、職業欄には自信を持つて「社会福祉士」と記入できるように、その第一歩として、まずは皆さんのお入会をお待ちしています。

企画部会は主に地域集会の開催支援や、千葉県ソーシャルワーカー三団体連絡協議会の活動などを通して、社会福祉士会の組織強化を目指しています。(部会の開催場所は千葉市内)

広報部会

広報部会では千葉県社会福祉士会の広報誌『点と線』の発行を年三回行います。また、会員ページの運営も広報部会の参加ください。

役割です。

『点と線』の作成のプロセスにおいてはこんなやりとりがなされています。

「今回の特集記事は SWの葛藤」を扱おうか」「いいね。せ

つかくだから、対談形式にする?」「大先輩同士の対談、是非聞かたいね。×さんにやつてもらえるか聞いてみようか」

「(対談を終えて)対人援助の根っことしてぶれてはいけないものを我々に突きつけられたね。・・・という具合に我々広報部会のメンバーも『点と線』を作り上げるなかで、人間として、援助者としての幅と奥行きを広げる体験をいたしております。

るにとどまらず、『点と線』を読まれた方がエンパシーされるような読み応えのある記事を作り上げるよう心がけています。

なお、広報部会では、部会員を募集しております。『点と線』づくりに関わることでマイネットワークを広げ、自身の価値観・世界を「点から線に」広げることができます。

一緒に広報部会で「高め合い」しませんか?

総合相談委員会

地域包括部会

地域包括支援センター部会
という名前だから、きっと地域包括支援センターで働いている人しか入れないだろうなどとお考えの方！そんなことはありません。現在の部会員はもちろん地域包括で働いているメンバーもいますが、それ以外にも障がい福祉、児童福祉、地域福祉、独立型社会福祉士など様々なフィールドで活動しているメンバーがいます。

部会の活動は千葉県より受託している「高齢者虐待防止対策研修」の実施や千葉県とのタイアップ事業の「高齢者虐待対応専門職チーム」など虐待対応に関する活動をしています。研修

やチームの活動を通して県内の虐待対応機関のスキルアップのお役に立てるよう部会員一同日々研鑽に励んでいます。今年度は県内各地で働く地域包括支援センターの社会福祉士の交流会を開催したいと考えています。

地域包括支援センターに興味がある、虐待対応のスキルアップに興味のある方はぜひ私たちと一緒に活動しませんか？

研修委員会

研修啓発部会

福祉ふれあいまつりの相談コーナーです。このほかにもお誘いがあれば県内どちらでも伺いたいと思っています。

就職フェアでの相談内容は資格の取得に関することや、資格を取った後の就職について等です。部会には最近資格を取ったフレッシュな人材が不足しております。就職フェアの参加者は学生や社会人、受験資格のある人・ない人と様々な人が参加しています。最近資格を取得し、勉強方法について語ることのできる方、これから資格を取得する人に社会福祉士の仕事の醍醐味を語りたい方などご興味のある方はぜひ相談事業部会にご参加ください。お待ちしております。

相談事業部会は総勢七名の小さな部会です。活動内容は無料相談会への相談員として部会員の派遣です。現在参加している相談会は千葉県福祉人材センターの主催する「福祉のしごと就職フェア・い・ちば」・「福祉のしごと就職ガイダンス」の相談コーナー、習志野市

研修啓発部会の主な業務は、基礎研修、共通基盤研修、実習指導者研修などの社会福祉士の質の向上を目的とした研修を実施し、さらに社会福祉士の魅力を伝える大学等などへの講話、また、社会福祉士の合格への道筋を誘う為、民間企業とコラボしたウェブ模擬試験の開催や社会福祉士関連の大学へ出向き、特別講座を行うなど社会福祉士の育成にも尽力しております。すべて重要な講座、研修であるが、なかでも力を入れているのが、基礎研修であります。日本社会福祉士会の監修のもと一年目ごと三年かけて社会福祉士の基礎的学びを行う研修であるが、初回年度以外

は定められた日数が一年間で十から十二日間と多く、その為研修内でのグループ取りまとめ役や準備及び受付スタッフが足りません。せひとも千葉県内の社会福祉士、ソーシャルワーカーの専門職の能力向上に、皆様のお力を貸して顶けますようよろしくお願い申し上げます。

独立型社会福祉士委員会

独立型社会福祉士委員会は、独立型社会福祉士部会と社会復帰促進支援・社会貢献部会との二つの部会で活動しています。独立型社会福祉士部会では、経営実績者のノウハウ等を知る勉強会や集会等を行い、また、司法福祉連続研修会では、ソーシャルワーカーの専門性を必要とする刑事司法社会福祉士の育成を目的に開催しています。

そして、社会復帰促進支援・社会貢献部会では、ホームレス支援として夜の駅周辺の巡回を非定期で行っています。

ばあとなあ千葉運営委員会

「権利擁護センター・ばあとなあ千葉」は、成年後見制度の利用を中心に、社会福祉の援助を必要としている人々の生活と権利を擁護するための諸活動を行っています。「成年後見制度の普及・啓発」と「受任者サポート体制の充実」を目指しています。現在一八九名の「ばあとなあ千葉」登録員が、約七〇〇件の後見人（成年後見人・保佐人・補助人）として、後見活動をしています。

「権利擁護センター・ばあとなあ千葉」は、成年後見制度の利用を中心に、社会福祉の援助を必要としている人々の生活と権利を擁護するための諸活動を行っています。「成年後見制度の普及・啓発」と「受任者サポート体制の充実」を目指しています。現在一八九名の「ばあとなあ千葉」登録員が、約七〇〇件の後見人（成年後見人・保佐人・補助人）として、後見活動をしています。

等の候補者の推薦要請が来ています。「〇一二年初めて親族後見人の割合が五〇%を割り、地域で活動する「市民後見人」と「親族後見人」と「専門職後見人」が、各自得意分野に応じて「棲み分け」して、この「成年後見制度」を支えていく時代が来ています。社会福祉士の「専門職としての知識や活動」や人生経験を活かしながら、「チームワークで、ネットワークで」支援していく後見活動をしてみませんか。

災害対策委員会

東日本大震災の経験を踏まえ、今後起こり得る大規模災害時にソーシャルワーカーとして何が出来るのか、何をすべきなのか、何を準備するべきなのか。災害対策委員会では、大きな混乱の中で会員の皆さん

活動をしていくための指針や、普段から準備しておくべきことなどについての検討を行っています。

八月二三日・二四日の二日間、

社会福祉センター五階研修室にて「災害対策研修会」を計画致しました。この日は「被災地支援の過去・現在・未来」「災害時に期待される専門職の役割」をテーマに、震災から三年が過ぎた今こそ見つめ直したい災害時のソーシャルワーカーについて、皆さんと共に考えたいと思いますので是非参加してください。

尚、受講申し込みについてはチラシ（FAX）の他、メールでも受け付けておりますので、ホームページにてご確認ください。

被災地支援活動協力会員のご登録、また災害対策委員会へのご参加を心よりお待ちしております。